

# 令和8年度 糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報 No. 6

令和8年7月21日  
糸魚川農業普及指導センター

## 1 7月21日現在のコシヒカリの生育状況（指標値との比較）

| 田植日・調査ほ場                   | 草丈    | 茎数    | 葉数 | 葉色    |
|----------------------------|-------|-------|----|-------|
| 田植日 5月2～27日<br>東海、西川原、東中、榎 | やや長～長 | やや少～並 | 早  | 並～やや濃 |

- 穂肥施肥により葉色が回復し、栄養凋落は回避傾向です。
- 平坦地のコシヒカリ（田植え5月10日）の出穂期は7月26日頃（平年より7日程度早い）と予想されます。  
※出穂期はほ場間差があり、今後の天候等によっても前後します
- 田植えの早いコシヒカリほ場では、すでに走り穂が確認されています。
- なお、調査ほ場ごとの出穂期の予想は以下のとおりです。

表 調査ほ場ごとの出穂予想(田植え時期は下段調査結果表参照)

| 調査ほ場（地区名） | 予想出穂期 | 調査ほ場（地区名） | 予想出穂期 |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 東海（早川地区）  | 7月25日 | 東中（根知地区）  | 8月6日  |
| 西川原（今井地区） | 7月25日 | 榎（能生地区）   | 7月27日 |

## 2 今後の管理について

- 7月16日発表の1か月予報によると、8月は気温が高い状態が続く見込みです。  
後期栄養の確保（穂肥）と水管理が特に重要となります。
- 2回目穂肥は、高温が予想される登熟期間に十分な栄養を確保するため、  
**窒素成分で1.5～1.8kg/10aを確実に施用**しましょう。  
【コシヒカリの2回目穂肥について】  
2回目の穂肥は窒素成分で1.5～1.8kg/10a(例:越後の輝き有機50穂肥で12～15kg/10a)  
散布時期 出穂12日前（葉耳間長-10cm、幼穂長4～6cm）又は1回目穂肥の7日後
- 2回目の穂肥を施用した後も葉色が淡いままの場合は、3回目の穂肥を出穂6～3日前（走り穂が出始めた頃）を目安に施用してください。
- 全量基肥（元肥ロング肥料）でも葉色が淡い場合は、穂肥を追加しましょう。
- 斑点米カメムシ類の多発が懸念されます。早生品種も含め、適期防除を行いましょう。

## 3 7月21日のコシヒカリ生育調査結果

| 調査項目 |             | ほ場所<br>(田植日) | 指標値<br>※ | 東海<br>(5月6日) | 西川原<br>(5月2日) | 東中<br>(5月27日) | 榎<br>(5月17日) |
|------|-------------|--------------|----------|--------------|---------------|---------------|--------------|
| 草 丈  | 本年値 (cm)    |              | 79       | 94           | 83            | 66            | 84           |
|      | 平年比 (%)     |              |          | 114          | 105           | 86            | 106          |
|      | 指標比 (%)     |              |          | 118          | 105           | 83            | 106          |
| 茎 数  | 茎数 (本/㎡)    |              | 420      | 371          | 432           | 434           | 342          |
|      | 平年比 (%)     |              |          | 86           | 106           | 93            | 81           |
|      | 指標比 (%)     |              |          | 88           | 103           | 103           | 81           |
| 葉 数  | 本年値 (葉)     |              | 12.0     | 13.0         | 14.3          | 11.0          | 12.7         |
|      | 平年差 (葉)     |              |          | +0.4         | +1.9          | -0.7          | +0.7         |
|      | 指標差 (葉)     |              |          | +1.0         | +2.3          | -1.0          | +0.7         |
| 葉 色  | 本年値 (SPAD値) |              | 32.5     | 34.0         | 31.1          | 33.4          | 36.9         |
|      | 平年差 (SPAD値) |              |          | +1.8         | -1.8          | -2.0          | +2.7         |
|      | 指標差 (SPAD値) |              |          | +1.5         | -1.4          | +0.9          | +4.4         |

※平年比・差とは、各調査ほごとの過去10年平均の生育値に対する現在の生育値の割合・差

※指標比・差とは、目標とする理想的な生育値（指標値）に対する現在の生育値の割合・差  
次回の情報提供は7月30日頃の予定です。